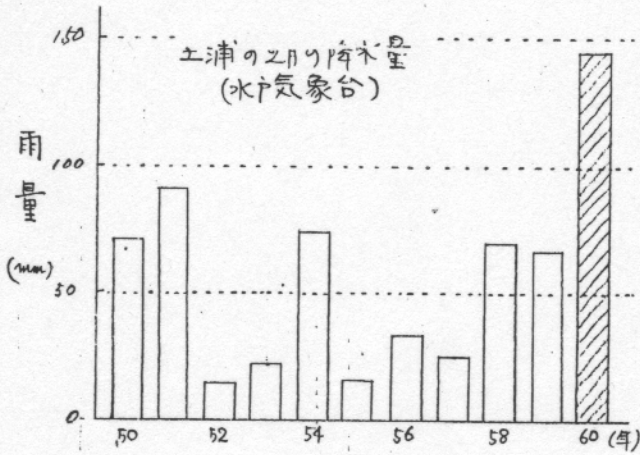


## 雨の多い二月

二月に入って、雨の日が多いようです。

左の図は、二月の土浦の雨の量を示したものです。



この図からも明らかのように、二月は一般に雨の少ない月ですが、今年の二月は、過去十年で最高となっています。

今頃雨が多いと、霞ヶ浦にどのような影響を及ぼすのでしょうか？

昔から、「春に雨が多いと、ワカサギが豊漁だ」といわれています。これは、或る程度は当たっていると、思います。

雨が降ると、川からの流入量が多くなりますが、その時に「珪酸」が同時に流れ込んできます。

この珪酸は、珪藻にとって大変重要な成分です。ですから、雨が多い程、

珪藻が増殖することになります。

珪藻は、動物プランクトンにとっても都合がよいので、珪藻が多いと、動物プランクトンも多いことになりま

す。この動物プランクトンは、「ふ化」したばかりのワカサギの餌になります。

ですので、結果的には、雨が多いとワカサギが豊漁だということになる訳です。

先きに、「或る程度は当たっていると、思う」と書きました。それは、この時期ワカサギだけでなく、ハゼ類の仲間ウキゴリ等も「ふ化」しますし、また、同じ動物プランクトンを食べると考えられているイサ

ザアミも多い時期であるからです。

一定量の餌(動物プランクトン)を、ワカサギ、シラウオ、ウキゴリ、シズカケハゼ、イサザアミの五種類の魚で奪い合うという型になっていると考

えています。

入る容器の大きさが決まっている訳ですから、五種類の魚のど

れかが多いと、他の魚は影響を受けて少

なくなる可能性があります。

この時期の餌が多いと、ワカサギは豊漁である」と簡単にいえないので、この意味からです。

茨内水試